

※1: 群崩壊症候群 (CCD=Colony Collapse Disorder) …養蜂家が保有する交配用・採蜜用ミツバチが、短期間に大量に失跡する原因不明の現象。稲や果樹などの害虫防除に使われるネオニコチノイド系農薬 (殺虫剤) やウイルス、ダニなどさまざまな原因が指摘されているが特定はされていない。

※2: ネオニコチノイド系農薬…ニコチンに似た化学構造を持つ農薬。植物に浸透し、効果持続の特徴がある。国内外で広く使用されている。



小澤社長のスマホカバーにはコロバンのイメージキャラクター「原宿みつころ」のストラップが……。

新たな社会貢献としてミツバチを守る活動
古田 御社は2010年(平成22)5月から「原宿ミツバチプロジェクト」をスタートさせました。養蜂という発想はどこから生まれたのでしょうか。
小澤 その1年ほど前から、エコキヤップの回収活動や「原宿ロール」の売り上げの一部をワクチンの購入費用に充てるなどの社会貢献事業に取り組んでいました。次は食により直結するかたちで社会貢献ができないかと、社員との雑談で話していたときに、ミツバチが原因のわからないまま大量に失跡する「蜂群崩壊症候群(CCD)」(※1)という現象が起こっている、という話題が出ました。ハチミツは洋菓子業界ではなじみ深い材料です。このままではハチミツを供給してくれるミツバチが消滅してしまうかも知れない。私たちに何ができるのかはわからないけれど、

ど、ミツバチを知るため、守るために養蜂をやってみてはどうかという結論になりました。
古田 大正大学でも、教育の一環として、巣鴨(豊島区)での養蜂の可能性を探っているのですが、障害がいろいろあり難しい。小澤社長はどのように養蜂を学んだのですか。
小澤 こちらもいろいろな障害がありました。まずミツバチの調達です。簡単に手に入るといわけではありませぬ。育て方も、調べれば調べるほど難しいことがわかった。そこで私が銀行員時代のお取引先だった養蜂家の藤井新三さん(ミツバチ産業)に十数年ぶりに連絡をして、教えを乞いました。偶然にもご自宅が弊社の本社がある原



巣箱の管理は週に数回行う。ハチを刺激しないように白色の作業服を着る。

宿(渋谷区)にあったため、「原宿で養蜂を始めるのならぜひ手伝わせて欲しい」とまで言ってくださいました。
藤井さんの指導を受けてわかったことは、野生のニホンミツバチは繊細な性格で、採蜜量が少なく、大量に集めることが難しいこと。養蜂家向けに販売されているセイヨウミツバチは巣箱への定着率が良く、飼育の研究も進んでいるので「群」を増やしやすいうことでした。そこでセイヨウミツバチで養蜂を始めたのですが、1年目はうまくいきませんでした。
ハチとハチミツが農薬に汚染されている
古田 病気も心配ですね。
小澤 ミツバチにもさまざまな病気があり、多様な対策を講じています。ですが一番怖いのは、先ほどもお話ししたネオニコチノイド系の農薬(※2)に起因するといわれるCCDでしょうね。
古田 どのような経路でミツバチが汚染されるのでしょうか。
小澤 日本のハチミツの



Naoya Furuta

大正大学地域構想研究所教授。東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程単位取得退学。三菱総合研究所を経て、2009年よりIUCN(国際自然保護連合)の日本オフィスにおいて生物多様性に関する国内外の政策展開に従事する。

消費量の93%は輸入品でまかなわれており、その半分は中国産といわれています。国産は7%ほどで、大半をプロの養蜂家が生産しています。プロの養蜂家の多くは南から北へ向かって全国を移動するのですが、その際に土壌に染みこんだ農薬が花を通じてハチミツに混じる可能性が指摘されています。最近の調査では、ミツバチやハチミツがネオニコチノイド系農薬に広く汚染されているという結果が出ています。ハチミツは日常生活で食べる量であれば、すぐに健康に影響が出るレベルではないようですが、安心できる状況ではありません。
私たちが都市養蜂にこだわっている



「原宿はちみつ」で地域貢献

ミツバチの花粉媒介は暮らしの豊かさを支える役割を担っている

小澤俊文

株式会社コロバン 代表取締役社長

原宿スイーツのコロバンが原宿と渋谷で養蜂を始めて8年目となる。養蜂の目的はスイーツ用のハチミツを採取することではなく、ミツバチを増やすことにあるという。「養蜂は社会貢献の一環」と話す同社の小澤俊文社長にその真意を聞いた。

聞き手 ● 古田尚也 (IUCN日本リエゾンオフィス・コーディネーター) 構成 ● 山本信幸 写真 ● 河野利彦 写真提供 ● コロバン



Toshifumi Ozawa

1953年11月生まれ、神奈川県出身。76年三和銀行(現三菱東京UFJ銀行)入行。中目黒、亀戸支店長、神奈川公務法人部長、参与を経て、2004年11月コロバン入社。監査役、常務を経て06年11月より現職。